

目標	分類	区分	指標No.	指標名	指標の解説	計 算 式	単位	業務指標値		業務評価基準		
								R4	R5			
A 安全で良質な水	運営管理	1 水質管理	A101	平均残留塩素濃度	給水栓での残留塩素濃度の平均値を表す。	残留塩素濃度合計／残留塩素測定回数			mg/L	0.36	0.32	↩
						残留塩素濃度合計 (mg/L)		残留塩素測定回数 (回)				
						R4	6,240.87	17,520				
						R5	3,488.67	10,980				
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	給水栓におけるカビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合を表す。	(最大カビ臭濃度物質濃度／水質基準値)×100			%	20.0	30.0	↓
						最大カビ臭濃度物質濃度 (mg/L)		水質基準値 (mg/L)				
						R4	0.000002	0.000010				
						R5	0.000003	0.000010				
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	給水栓における総トリハロメタン濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す。	〔(Σ給水栓の総トリハロメタン濃度／給水栓数)／水質基準値〕×100			%	31.0	32.0	↓
						(Σ給水栓の総トリハロメタン濃度／給水栓数) (mg/L)／(箇所)		水質基準値 (mg/L)				
						R4	0.0310	0.1000				
						R5	0.0320	0.1000				
			A104	有機物(TOC)濃度水質基準比率	給水栓における有機物(TOC)濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す。	〔(Σ給水栓の有機物(TOC)濃度／給水栓数)／水質基準値〕×100			%	16.0	19.7	↓
						(Σ給水栓の有機物(TOC)濃度／給水栓数) (mg/L)／(箇所)		水質基準値 (mg/L)				
						R4	0.4800	3.0000				
						R5	0.5900	3.0000				
			A105	重金属濃度水質基準比率	給水栓における重金属濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す。	(Σ給水栓の当該重金属濃度／給水栓数)／水質基準値×100			%	2.8	2.9	↓
						(Σ給水栓の当該重金属濃度／給水栓数) (mg/L)／(箇所)		水質基準値 (mg/L)				
						R4	0.00028	0.01000				
						R5	0.00029	0.01000				
	A106	無機物質濃度水質基準比率	給水栓における無機物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の味、色など性状を表す。	〔(Σ給水栓の当該無機物質濃度／給水栓数)／水質基準値〕×100			%	14.0	13.7	◇		
				(Σ給水栓の当該無機物質濃度／給水栓数) (mg/L)／(箇所)		水質基準値 (mg/L)						
				R4	42.0000	300.0000						
				R5	41.0000	300.0000						
	A107	有機化学物質濃度水質基準比率	給水栓における有機化学物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す。	〔(Σ給水栓の当該有機化学物質濃度／給水栓数)／水質基準値〕×100			%	0.0	0.0	↓		
				(Σ給水栓の当該有機化学物質濃度／給水栓数) (mg/L)／(箇所)		水質基準値 (mg/L)						
				R4	0.0000	0.0000						
				R5	0.0000	0.0000						
	A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	給水栓における消毒副生成物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す。	〔(Σ給水栓の当該消毒副生成物濃度／給水栓数)／水質基準値〕×100			%	33.3	40.0	↓		
				(Σ給水栓の当該消毒副生成物濃度／給水栓数) (mg/L)／(箇所)		水質基準値 (mg/L)						
				R4	0.0100	0.0300						
				R5	0.0120	0.0300						
A109	農薬濃度水質管理目標比	給水栓における各農薬濃度と水質管理目標値との比の合計を示すもので、水源の汚染状況及び水道水の安全性を表す。	$\max \sum (X_{ij} / GV_j)$ (Xi:各定期検査時の各農薬濃度(mg/L)、GV:各農薬の目標値(mg/L)) 測定した農薬数 (各農薬の濃度／各農薬の目標値)の合計 (項目) (Xi j / GV j)			-	0.020	0.000	◇			
			R4	114	0.020							
			R5	114	0.000							
施設管理	2	A201	原水水質監視度	水道事業体が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示しており、水道事業体の水質管理水準を表す。	原水水質監視項目数			項目	181	181	◇	
					原水水質監視項目数 (項目)							
					R4	181						
					R5	181						
		A202	給水栓水質検査(毎日)箇所密度	給水栓における毎日水質検査に関して、給水面積100㎥当たりの給水栓水質の監視箇所数を示したものであり、水道水の水質管理水準を表す。	給水栓水質検査(毎日)採水箇所数／(現在給水面積／100)			箇所/100K㎡	10.3	6.4	↑	
					給水栓水質検査(毎日)採水箇所数 (箇所)		現在給水面積 (kmf)					
					R4	48	466.025					
					R5	30	466.025					
		A203	配水池清掃実施率	配水池有効容量に対する5年間に清掃した配水池有効容量の割合を示すもので、安全で良質な水への取組み度合いを表す。	(5年間に清掃した配水池有効容量／配水池有効容量)×100			%	41.7	49.2	↑	
					5年間に清掃した配水池有効容量 (㎡)		配水池有効容量 (㎡)					
					R4	53,891	129,096					
					R5	62,999	128,073					
		A204	直結給水率	給水件数に対する直結給水件数の割合を示すもので、受水槽管理の不備に伴う衛生問題などに対する水道事業体としての取組み度合いを表す。	(直結給水件数／給水件数)×100			%	98.9	98.9	↑	
					直結給水件数 (件)		給水件数 (件)					
					R4	147,741	149,365					
					R5	147,426	149,030					
A205	貯水槽水道指導率	貯水槽水道数に対する指導を実施した件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す。	(貯水槽水道指導件数／貯水槽水道数)×100			%	100.0	100.0	↑			
			貯水槽水道指導件数 (件)		貯水槽水道数 (件)							
			R4	1,624	1,624							
			R5	1,604	1,604							

目標	分類	区分	指標 No.	指 標 名	指 標 の 解 説	計 算 式	単位	業務指標値		業務 評価 基準	
								R4	R5		
A 安全で良質な水	運営管理	3 事故災害対策	A301	水源の水質 事故件数	1年間における水源の水 質事故件数を示すもの で、水源の突発的水質 異常のリスクがどれだ けあるかを表す。	年間水源水質事故件数		件	1	0	↓
						年間水源水質事故件数 (件)					
						R4	1				
						R5	0				
A302	粉末活性炭 処理比率	年間浄水処理量に対する 粉末活性炭年間処理 水量の割合を示すもの で、原水の汚染状況、 水質事故に対する対応 を表す。	(粉末活性炭年間処理水量／年間浄水量)×100		%	98.3	100.0	↓			
			粉末活性炭年間処理水量 (千㎡)								
			R4	19,327					19,667		
			R5	17,563					17,563		
A401	鉛製給水管 率	給水件数に対する鉛製 給水管使用件数の割合 を示すものであり、鉛 製給水管の解消に向け た取組みの進捗度合い を表す。	(鉛製給水管使用件数／給水件数)×100		%	1.0	0.8	↓			
			鉛管給水管使用件数 (件)								
			R4	1,470					149,365		
			R5	1,227					149,030		
B 安定した水の供給	1 施設管理	B101	自己保有水 源率	水道事業体が保有する 全ての水源量に対す る、その水道事業体が 単独で管理し、水道事 業体の意思で自由に取 水できる水源量の割合 を示すもので、水源運 用の自由度を表す。	(自己保有水源水量／全水源水量)×100		%	13.5	13.5	◆	
					自己保有水源水量 (㎡/日)						
					R4	31,029					229,035
					R5	31,029					229,035
		B102	取水量1㎡ 当たり水源 保全投資額	取水量1㎡当りに対する 水質保全に対する投 資費用を示すもので、 水道事業体の水質保全 への取組みを表す。	水源保全に投資した費用／年間取水量		円/㎡	0.80	0.56	↑	
					水源保全に投資した費用 (円)						
					R4	33,466,288					41,811,393
					R5	23,532,118					41,656,364
		B103	地下水率	水源利用水量に対する 地下水揚水量の割合を 示すもので、水道事業 体の水源特性を表す。	(地下水揚水量／年間取水量)×100		%	16.8	19.2	↻	
					地下水揚水量 (㎡)						
					R4	7,043,220					41,811,393
					R5	7,990,526					41,656,364
		B104	施設利用率	施設能力に対する一日 平均配水量の割合を示 すもので、水道施設の 効率性を表す。	(一日平均配水量／施設能力)×100		%	52.2	51.6	↑	
					一日平均配水量 (㎡/日)						
					R4	107,817					206,485
					R5	106,459					206,485
		B105	最大稼働率	施設能力に対する一日 最大配水量の割合を示 すもので、水道施設の 効率性を表す。	(一日最大配水量／施設能力)×100		%	64.6	56.5	↑	
					一日最大配水量 (㎡/日)						
					R4	133,419					206,485
					R5	116,600					206,485
		B106	負荷率	一日最大配水量に対す る一日平均配水量の割 合を示すもので、水道 施設の効率性を表す。	(一日平均配水量／一日最大配水量)×100		%	80.8	91.3	↑	
					一日平均配水量 (㎡/日)						
					R4	107,817					133,419
					R5	106,459					116,600
		B107	配水管延長 密度	給水面積当たりの配水 管延長を示すもので、 お客さまからの給水申 込みに対する物理的利 便性の度合いを表す。	配水管延長／現在給水面積		km/km ²	4.8	4.8	◇	
					配水管延長 (km)						
					R4	2,246,165					466,025
					R5	2,249,542					466,025
		B108	管路点検率	管路延長に対する1年 間で点検した管路延長 の割合を示すもので、 管路の健全性確保に対 する執行度合いを表 す。	(点検した管路延長／管路延長)×100		%	55.7	30.4	↑	
					点検した管路延長 (km)						
					R4	1,270,000					2,280,834
					R5	693,800					2,283,541
		B109	バルブ点検 率	バルブ設置数に対する 1年間に点検したバル ブ数の割合を示すもの で、管路の健全性確保 に対する執行度合いを 表す。	(点検したバルブ数／バルブ設置数)×100		%	6.6	6.1	↑	
					点検したバルブ数 (個)						
					R4	2,754					42,038
					R5	2,613					42,681
		B110	漏水率	配水量に対する漏水量 の割合を示しており、 事業効率を表す。	(年間漏水量／年間配水量)×100		%	7.3	7.8	↓	
					年間漏水量 (㎡)						
					R4	2,880,765					39,353,184
					R5	3,036,476					38,964,134
		B111	有効率	年間配水量に対する年 間有効水量の割合を示 すもので、水道事業の 経営効率性を表す。	(年間有効水量／年間配水量)×100		%	92.4	91.9	↑	
					年間有効水量 (㎡)						
					R4	36,355,849					39,353,184
					R5	35,824,729					38,964,134
		B112	有収率	年間配水量に対する年 間有収水量の割合を示 すもので、水道施設を 通して供給される水量 が、どの程度収益につ ながっているかを表 す。	(年間有収水量／年間配水量)×100		%	89.8	89.4	↑	
					年間有収水量 (㎡)						
					R4	35,330,536					39,353,184
					R5	34,816,738					38,964,134

目標	分類	区分	指標No.	指標名	指標の解説	計 算 式	単位	業務指標値		業務評価基準
								R4	R5	
B	安定した水の供給	施設管理	B113	配水池貯留能力	一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表す。	配水池有効容量／一日平均配水量 配水池有効容量 (m) 一日平均配水量 (m/日) R4 129,096 107,817 R5 128,073 106,459	日	1.20	1.20	↑
			B114	給水人口一人当たり配水量	給水人口一人当たりの配水量を示すもので、家庭用以外の水利用の多少を表す。	(一日平均配水量×1,000)／現在給水人口 一日平均配水量 (m/日) 現在給水人口 (人) R4 107,817 315,175 R5 106,459 311,605	L/日・人	342	342	◇
			B115	給水制限日数	1年間に給水制限を実施した日数を示すもので、給水サービスの安定性を表す。	年間給水制限日数 年間給水制限日数 (日) R4 0 R5 0	日	0	0	↓
			B116	給水普及率	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合を示すもので、水道事業のサービス享受の概況及び地域性を表す。	(現在給水人口／給水区域内人口) ×100 現在給水人口 (人) 給水区域内人口 (人) R4 315,175 315,829 R5 311,605 312,238	%	99.8	99.8	◇
			B117	設備点検実施率	機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表す。	(点検機器数／機械・電気・計装機器の合計数) ×100 点検機器数 (台・面又は組) 機械・電気・計装機器の合計数 (台・面又は組) R4 180 180 R5 181 181	%	100.0	100.0	↑
		運営管理	B201	浄水場事故割合	直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を一浄水場当たりの割合として示すものであり、施設の信頼性を表す。	10年間の浄水場停止事故件数／浄水場数 10年間の浄水場停止事故件数 (件) 浄水場数 (箇所) R4 1 10 R5 1 10	件/10年・箇所	0.10	0.10	↓
			B202	事故時断水人口率	浄水場などの事故時において、給水できない人口の割合を示しており、水道事業体のシステムの融通性、余裕度によるサービスの安定性を表す。	(事故時断水人口／現在給水人口) ×100 ※最大規模の施設が24時間停止した場合を想定 事故時断水人口 (人) 現在給水人口 (人) R4 0 315,175 R5 0 311,605	%	0.0	0.0	↓
			B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	災害時に確保されている給水人口一人当たりの飲料水量を示す指標であり、水道事業体の災害対応度を表す。	[(配水池有効容量×1/2+緊急貯水槽容量) ×1,000／現在給水人口] 配水池有効容量 (m) 緊急貯水槽容量 (m) 現在給水人口 (人) R4 129,096 1,240 315,175 R5 128,073 1,240 311,605	L/人	209	209	↑
			B204	管路の事故割合	1年間における導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、管路の健全性を表す。	管路の事故件数／(管路延長／100) 管路の事故件数 (件) 管路延長 (km) R4 76 2,280.834 R5 86 2,283.541	件/100km	3.3	3.8	↓
			B205	基幹管路の事故割合	1年間における基幹管路の事故件数を、延長100km当たりの件数に換算したものであり、基幹管路の健全性を表す。	基幹管路の事故件数／(基幹管路延長／100) 基幹管路の事故件数 (件) 基幹管路延長 (km) R4 5 227.505 R5 1 228.245	件/100km	2.2	0.4	↓
			B206	鉄製管路の事故割合	1年間における鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、鉄製管路の健全性を表す。	鉄製管路の事故件数／(鉄製管路延長／100) 鉄製管路の事故件数 (件) 鉄製管路延長 (km) R4 24 904.258 R5 27 905.577	件/100km	2.7	3.0	↓
			B207	非鉄製管路の事故割合	1年間における非鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、非鉄製管路の健全性を表す。	非鉄製管路の事故件数／(非鉄製管路延長／100) 非鉄製管路の事故件数 (件) 非鉄製管路延長 (km) R4 52 1,372.721 R5 59 1,374.995	件/100km	3.8	4.3	↓
			B208	給水管の事故割合	給水件数1,000件当たりの給水管の事故件数を示しており、配水管分岐から水道メーターまでの給水管の健全性を表す。	給水管の事故件数／(給水件数／1,000) 給水管の事故件数 (件) 給水件数 (件) R4 859 149,365 R5 1,028 149,030	件/1,000件	5.8	6.9	↓
			B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	現在給水人口に対する断水・濁水時間を示すものであり、給水の安定度を表す。	Σ(断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)／現在給水人口 Σ(断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口 (時間)・(人) 現在給水人口 (人) R4 5,063 315,175 R5 8,883 311,605	時間	0.02	0.03	↓
			B210	災害対策訓練実施回数	1年間に災害対策訓練を実施した回数を示すもので、自然災害に対する危機対応性を表す。	年間の災害対策訓練実施回数 年間の災害対策訓練実施回数 (回/年) R4 2 R5 4	回/年	2	4	◇

目標	分類	区分	指標 No.	指 標 名	指 標 の 解 説	計 算 式	単位	業務指標値		業務 評価 基準				
								R4	R5					
B	安定した水の供給	運営管理	対2 策事故災害	B211	消火栓設置 密度	配水管延長に対する消火栓の設置密度を示すもので、危機対応能力の度合いを表す。	消火栓数／配水管延長			基/km	2.8	2.8	▲	
							消火栓数 (基)							
							配水管延長 (km)							
							R4	6,368	2,246,165					
							R5	6,367	2,249,542					
			3	環境対策	B301	配水量1 m ³ 当たり電力 消費量	配水量1 m ³ 当たりの電力使用量を示すもので、省エネルギー対策への取組み度合いを表す。	電力使用量の合計／年間配水量			kWh/ m ³	0.46	0.48	↓
								電力使用量の合計 (kwh)						
								年間配水量 (m ³)						
								R4	18,076,411	39,353,184				
								R5	18,725,476	38,964,134				
			B302	配水量1 m ³ 当たり消費 エネルギー	配水量当たりの消費エネルギー量の割合を示すもので、省エネルギー対策への取組み度合いを表す。	エネルギー消費量／年間配水量			MJ/m ³	4.44	4.66	↓		
						エネルギー消費量 (MJ)								
						年間配水量 (m ³)								
						R4	174,562,566.940	39,353,184						
						R5	181,489,429.000	38,964,134						
		B303	配水量1 m ³ 当たり二酸化 炭素(CO ₂)排出 量	年間配水量に対する総二酸化炭素(Co2)排出量であり、環境保全への取組み度合いを表す。	(二酸化炭素(CO ₂)排出量／年間配水量) × 1,000,000			g・ CO ₂ /m ³	241	252	↓			
					二酸化炭素(CO ₂)排出量 (t・CO ₂)									
					年間配水量 (m ³)									
					R4	9,473.000	39,353,184							
					R5	9,809.000	38,964,134							
		B304	再生可能エ ネルギー利 用率	全施設の電力使用量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取組み度合いを表す。	(再生可能エネルギー設備の電力使用量／全施設の電力使用量) × 100			%	0.12	0.15	↑			
	再生可能エネルギー設備の電力使用量 (kwh)													
	全施設の電力使用量 (kwh)													
	R4				20,822	18,076,411								
	R5				28,052	18,725,476								
	B305	浄水発生土 の有効利用 率	浄水発生土量に対する有効利用土量の割合を示すもので、環境保全への取組み度合いを表す。	(有効利用土量／浄水発生土量) × 100			%	100.0	100.0	↑				
				有効利用土量 (t-Ds)										
				浄水発生土量 (t-Ds)										
				R4	602.0	602.0								
				R5	678.4	678.4								
	B306	建設副産物 のリサイク ル率	水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、リサイクルされた建設副産物の割合を示すもので、環境保全への取組み度合いを表す。	(リサイクルされた建設副産物量／建設副産物発生量) × 100			%	61.5	53.0	↑				
				リサイクルされた建設副産物量 (t)										
				建設副産物発生量 (t)										
				R4	41,800	67,980								
				R5	26,278	49,611								
施設整備更新	4 施設管理	B401	ダク タイル 铸铁管・鋼 管率	全管路延長にあるダク タイル鉄鋼管・鋼管の 割合を示すもので、管 路の母材強度に視点を 当てた指標。	[(ダク タイル铸铁管延長＋鋼管延長)／管路延長] × 100			%	39.6	39.7	↑			
					ダク タイル铸铁管延長 (km)									
					鋼管延長 (km)									
					管路延長 (km)									
					R4	880,080	24,178					2,280,834		
		R5	881,236	24,341	2,283,541									
		B402	管路の新設 率	管路延長に対する1年間 に新設した管路延長の 割合を示すもので、管 路整備度合いを表す。	(新設管路延長／管路延長) × 100			%	0.06	0.11	◇			
					新設管路延長 (km)									
					管路延長 (km)									
					R4	1,382	2,280,834							
	R5				2,398	2,283,541								
	5 施設更新	B501	法定耐用年 数超過浄水 施設率	全浄水施設能力に対 する法的耐用年数を超 越した浄水施設の浄水 能力の割合を示すも の、施設の老朽化度 及び更新の取組み状 況を表す。	(法定耐用年数を超過している浄水施設能力／全浄水施設能力) × 100			%	0.1	0.2	↓			
					法定耐用年数を超過している浄水施設能力 (m ³ /日)									
					全浄水施設能力 (m ³ /日)									
R4					255	206,485								
R5	465	206,485												
B502	法定耐用年 数超過設備 率	水道施設に設置され ている機械・電気・計 装設備の機器合計数に 対する法定耐用年数を 超えている機器数の割 合を示すものであり、 機器の老朽度、更新 の取組み状況を表す。	[(法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数／機械・電気・計装設備などの合計数) × 100			%	62.5	62.5	↓					
			法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数 (台・面又は組)											
			機械・電気・計装設備などの合計数 (台・面又は組)											
			R4	55	88									
			R5	55	88									
B503	法定耐用年 数超過管路 率	管路の延長に対する法 定耐用年数を超過して いる管路の割合を示す ものであり、管路の老 朽化度、更新の取組み 状況を表す。	(法定耐用年数を超過している管路延長／管路延長) × 100			%	27.9	29.9	↓					
			法定耐用年数を超過している管路延長 (km)											
			管路延長 (km)											
			R4	637,389	2,280,834									
			R5	682,670	2,283,541									
B504	管路の更新 率	管路の延長に対する更 新された管路延長の割 合を示すもので、信頼 性確保のための管路 更新の執行度合いを表 す。	(更新された管路延長／管路延長) × 100			%	1.06	0.68	↑					
			更新された管路延長 (km)											
			管路延長 (km)											
			R4	24,239	2,280,834									
			R5	15,500	2,283,541									
B505	管路の更生 率	管路の延長に対する更 生を行った管路の割合 を示すもので、信頼性 確保のための管路維 持の執行度合いを表す。	(更生された管路延長／管路延長) × 100			%	0.000	0.000	◇					
			更生された管路延長 (km)											
			管路延長 (km)											
			R4	0	2,280,834									
			R5	0	2,283,541									
対6 策事故災害	B601	系統間の原 水融通率	全浄水施設能力に対 する他系統からの融通 可能な原水水量の割合 を示すものであり、水 運用の安定性、柔軟性 、及び危機対応性を表 す。	(原水融通能力／全浄水施設能力) × 100			%	14.5	14.5	↑				
				原水融通能力 (m ³ /日)										
				全浄水施設能力 (m ³ /日)										
				R4	30,000	206,485								
				R5	30,000	206,485								

目標	分類	区分	指標No.	指標名	指標の解説	計 算 式	単位	業務指標値		業務評価基準
								R4	R5	
B	安定した水の供給	6	B602	浄水施設の耐震化率	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す。	(耐震対策の施された浄水施設能力／全浄水施設能力)×100	%	23.6	23.6	↑
						耐震対策の施された浄水施設能力 (m ³ /日)				
						R4 48,750 206,485				
						R5 48,750 206,485				
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	浄水施設のうち、主要構造物である、沈でん池及びろ過池に対する耐震対策が施されている割合を示すもので、B602(浄水施設の耐震化)の進捗を表す。	[沈でん・ろ過池を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力／全浄水施設能力]×100	%	23.4	23.4	↑
						沈でん・ろ過池を有する施設の耐震化浄水施設能力 (m ³ /日)				
						R4 48,220 0 206,485				
						R5 48,220 0 206,485				
			B603	ポンプ所の耐震化率	耐震化対象ポンプ所能力に対する耐震対策が施されたポンプ所能力の割合を示すもので、地震災害に対するポンプ施設の信頼性・安全性を表す。	(耐震対策の施されたポンプ所能力／耐震化対象ポンプ所能力)×100	%	51.6	51.6	↑
						耐震対策の施されたポンプ所能力 (m ³ /日)				
						R4 178,372 345,470				
						R5 178,372 345,470				
			B604	配水池の耐震化率	全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す。	(耐震対策の施された配水池有効容量／配水池等有効容量)×100	%	45.2	57.7	↑
						耐震対策の施された配水池有効容量 (m ³)				
						R4 58,312 129,096				
						R5 64,072 111,140				
			B605	管路の耐震管率	導・送・配水管(配水支管を含む)全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す。	(耐震管延長／管路延長)×100 ※表示は、水道配水用ポリエチレン管を含むを意味する	%	15.1	15.9	↑
						耐震管延長 (km) 管路延長 (km)				
						R4 * 343.5 * 2,280.8				
						R5 * 362.6 * 2,283.5				
			B606	基幹管路の耐震管率	基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すものであり、地震災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す。	(基幹管路のうち耐震管延長／基幹管路延長)×100	%	44.8	45.5	↑
						基幹管路のうち耐震管延長 (km) 基幹管路延長 (km)				
						R4 101,924 227,505				
						R5 103,855 228,245				
			B606-2	基幹管路の耐震適合率	基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B606(基幹管路の耐震管率)を補足する指標。	(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長／基幹管路延長)×100	%	52.6	53.3	↑
						基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長 (km) 基幹管路延長 (km)				
						R4 119,674 227,505				
						R5 121,605 228,245				
			B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	重要給水施設への配水管の総延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表す。	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長／重要給水施設配水管路延長)×100	%	56.0	57.6	↑
						重要給水施設配水管路のうち耐震管延長 (km) 重要給水施設配水管路延長 (km)				
						R4 52,654 94,100				
						R5 54,213 94,110				
			B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率	重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B607(重要給水施設配水管路の耐震管率)を補足する指標。	(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長／重要給水施設配水管路延長)×100	%	67.4	69.1	↑
						重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長 (km) 重要給水施設配水管路延長 (km)				
						R4 63,454 94,100				
						R5 65,013 94,110				
			B608	停電時配水量確保率	一日平均配水量に対する全施設が停電した場合に確保できる配水能力の割合を示すものであり、災害時、広域停電時における危機対応性を表す。	(全施設停電時に確保できる配水能力／一日平均配水量)×100	%	33.3	64.5	↑
						全施設停電時に確保できる配水能力 (m ³ /日) 一日平均配水量 (m ³ /日)				
						R4 35,900 107,817				
						R5 68,670 106,459				
			B609	薬品備蓄日数	浄水場で使う薬品の平均貯蔵量に対する一日平均使用量の割合を示すもので、災害に対する危機対応能力を表す。	平均凝集剤貯蔵量／凝集剤一日平均使用量又は平均塩素剤貯蔵量／塩素剤一日平均使用量のうち、小さい方の値	日	14.2	13.5	↩
						平均凝集剤貯蔵量 (t) 凝集剤一日平均使用量 (t/日) 平均塩素剤貯蔵量 (t) 塩素剤一日平均使用量 (t/日) 値の小さい薬品名				
						R4 53.28 3.75 32.14 1.02 凝集剤				
						R5 53.28 3.95 32.14 0.99 凝集剤				
			B610	燃料備蓄日数	停電時においても、自家発電設備で浄水場の稼働を継続する日数を示すもので、災害時の対応性を表す。	平均燃料貯蔵量／一日燃料使用量	日	0.4	0.5	↑
						平均燃料貯蔵量 (KL) 一日燃料使用量 (KL/日)				
						R4 1,950 5,016				
						R5 3,379 6,668				
			B611	応急給水施設密度	100人当たりの応急給水施設数を示すもので、震災時などにおける飲料水の確保のしやすさを表す。	応急給水施設数／(現在給水面積／100)	箇所/100km ²	7.1	7.1	↑
						応急給水施設数 (箇所) 現在給水面積 (km ²)				
						R4 33 466.025				
						R5 33 466.025				
			B612	給水車保有度	給水人口1,000人当たりの給水車保有台数を示すものであり、事故・災害などの緊急時における応急給水活動の対応性を表す。	給水車数／(現在給水人口／1,000)	台/1,000人	0.016	0.016	↑
						給水車数 (台) 現在給水人口 (人)				
						R4 5 315,175				
						R5 5 311,605				
			B613	車載用の給水タンク保有度	給水人口1,000人当たりの車載用給水タンク容量を示すものであり、主に大地震などが発生した場合における応急給水活動の対応性を表す。	車載用給水タンクの容量／(現在給水人口／1,000)	m ³ /1,000人	0.16	0.17	↑
						車載用給水タンクの容量 (m ³) 現在給水人口 (人)				
						R4 52 315,175				
						R5 54 311,605				

目 標	分 類	区 分	指標 No.	指 標 名	指 標 の 解 説	計 算 式	単位	業務指標値		業務 評価 基準
								R4	R5	
C	健全な事業経営	1	C101	営業収支比率	営業収益の営業費用に対する割合を示すもので、水道事業の収益性を表す。	[(営業収益-受託工事収益) / (営業費用-受託工事費)] × 100	%	105.1	103.6	↑
						営業収益				
						(円)				
						R4 8,223,145,177 0 7,824,355,318 2,778,394				
						R5 8,118,674,442 0 7,837,330,478 0				
			C102	経常収支比率	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す。	[(営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用)] × 100	%	109.6	108.1	↑
						営業収益				
						(円)				
						R4 8,223,145,177 777,631,225 7,824,355,318 385,197,416				
						R5 8,118,674,442 734,826,285 7,837,330,478 354,451,712				
			C103	総収支比率	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す。	(総収益/総費用) × 100	%	110.0	107.5	↑
						総収益				
						(円)				
						R4 9,040,154,952 8,219,254,870				
						R5 8,853,986,152 8,239,202,984				
			C104	累積欠損金比率	受託工事収益を除く営業収益に対する累積欠損金の割合を示すもので、水道事業経営の健全性を表す。	[累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)] × 100	%	0.0	0.0	↓
						累積欠損金				
						(円)				
						R4 0 8,223,145,177 0				
						R5 0 8,118,674,442 0				
			C105	繰入金比率 (収益的収入分)	収益的収入に対する損益勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す。	(損益勘定繰入金/収益的収入) × 100	%	1.7	1.4	◇
						損益勘定繰入金				
						(円)				
						R4 153,706,286 9,040,154,952				
						R5 123,809,812 8,853,986,152				
			C106	繰入金比率 (資本的収入分)	資本的収入に対する資本勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す。	(資本勘定繰入金/資本的収入計) × 100	%	29.8	31.0	◇
						資本勘定繰入金				
						(円)				
						R4 841,656,451 2,827,905,284				
						R5 997,584,627 3,217,100,686				
			C107	職員一人当たり給水収益	損益勘定職員一人当たりの給水収益を示すもので、水道事業における生産性について給水収益を基準として把握するための指標。	給水収益/損益勘定所属職員数	千円/人	60,800	59,249	↑
						給水収益				
						(千円)				
						R4 7,904,051 130				
						R5 7,820,832 132				
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合	給水収益に対する職員給与費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す。	(職員給与費/給水収益) × 100	%	13.1	12.5	↓
						職員給与費				
						(円)				
						R4 1,034,170,777 7,904,051,364				
						R5 974,311,988 7,820,832,102				
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合	給水収益に対する企業債利息の割合を示すもので、水道事業の効率性及び財務安全性を表す。	(企業債利息/給水収益) × 100	%	4.7	4.5	↓
						企業債利息				
						(円)				
						R4 370,527,414 7,904,051,364				
						R5 351,087,907 7,820,832,102				
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合	給水収益に対する減価償却費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す。	(減価償却費/給水収益) × 100	%	46.8	47.9	↓
						減価償却費				
						(円)				
						R4 3,699,014,087 7,904,051,364				
						R5 3,747,402,205 7,820,832,102				
			C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合を示すもので、建設改良のための企業債償還元金が経営に及ぼす影響を表す。	(建設改良のための企業債償還元金/給水収益) × 100	%	28.4	29.1	◇
						建設改良のための企業債償還元金				
						(円)				
						R4 2,246,130,276 7,904,051,364				
						R5 2,275,661,415 7,820,832,102				
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合	給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す。	(企業債残高/給水収益) × 100	%	307.5	308.6	↓
						企業債残高				
						(円)				
						R4 24,307,013,796 7,904,051,364				
						R5 24,132,452,381 7,820,832,102				
			C113	料金回収率	給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す。	(供給単価/給水原価) × 100	%	104.0	102.9	↑
						供給単価				
						(円/㎡)				
						R4 223.7 215.1				
						R5 224.6 218.2				
			C114	供給単価	有収水量1㎡当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけの収益を得ているかを表す。	給水収益/年間総有収水量	円/㎡	223.7	224.6	↓
						給水収益				
						(円)				
						R4 7,904,051,364 35,330,536				
						R5 7,820,832,102 34,816,738				
			C115	給水原価	有収水量1㎡当たりの経常費用(受託工事費等を除く)の割合を示すもので、水道事業でどれだけの費用がかかっているかを表す。	[経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費+長期前受金戻入)] / 年間有収水量	円/㎡	215.1	218.2	◇
						経常費用				
						(円)				
						R4 8,209,552,734 2,778,394 605,558,146 35,330,536				
						R5 8,191,782,190 0 0 0 594,592,896 34,816,738				

目 標	分 類	区 分	指標 No.	指 標 名	指 標 の 解 説	計 算 式	単位	業務指標値		業務 評価 基準
								R4	R5	
C	財 務 健 全 な 事 業 経 営	1 健 全 経 営	C116	1 か月10m ³ 当たり家庭 用料金	1か月に10m ³ 使用した 場合における水道料金 を示し、契約者の経済 的利便性を表す。	1 か月10m ³ 当たり家庭用料金	円	2,013	2,013	↓
						1 か月10m ³ 当たり家庭用料金 (円)				
						R4 2,013				
						R5 2,013				
			C117	1 か月20m ³ 当たり家庭 用料金	1か月に20m ³ 使用した 場合における水道料金 を示し、契約者の経済 的利便性を表す。	1 か月20m ³ 当たり家庭用料金	円	3,729	3,729	↓
						1 か月20m ³ 当たり家庭用料金 (円)				
						R4 3,729				
						R5 3,729				
			C118	流動比率	流動負債に対する流動 資産の割合を示すもの であり、事業の財務安 全性を表す。	(流動資産／流動負債) ×100	%	215.1	225.8	↑
						流動資産 (円)				
						R4 10,971,447,166				
						R5 10,709,902,326				
			C119	自己資本構 成比率	総資本(負債及び資本) に対する自己資本の割 合を示しており、財務 の健全性を表す。	[(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益) / 負債・資本合計] ×100	%	72.7	73.3	↑
						資本金 (円)				
						R4 61,377,207,745				
						R5 63,466,643,222				
			C120	固定比率	自己資本に対する固定 資産の割合を示すもの であり、財務の安定性 を表す。	[固定資産 / (資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)] ×100	%	123.1	122.5	↓
						固定資産 (円)				
						R4 93,535,769,457				
						R5 94,416,242,453				
			C121	企業債償還 元金対減価 償却費比率	当年度減価償却費に対 する企業債償還元金の 割合を示すもので、投 下資本の回収と再投資 との間のバランスを見 る指標。	(建設改良のための企業債償還元金 / 当年度減価償却費－長期前受金戻入) ×100	%	72.6	72.2	↓
						建設改良のための企業債償還元金 (円)				
						R4 2,246,130,276				
						R5 2,275,661,415				
			C122	固定資産回 転率	固定資産(年度平均)に 対する営業収益の割合 を示すものであり、1 年間に固定資産額の何 倍の営業収益があった かを示す指標。	(営業収益－受託工事収益) / [(期首固定資産+期末固定資産) / 2]	回	0.09	0.09	↑
						営業収益 (円)				
						R4 8,223,145,177				
						R5 8,118,674,442				
			C123	固定資産使 用効率	有形固定資産に対する 年間総配水量の割合を 示すもので、施設の使 用効率を表す。	年間配水量 / 有形固定資産	m ³ /万 円	4.3	4.2	↑
						年間配水量 (m)				
						R4 39,353,184				
						R5 38,964,134				
			C124	職員一人当 たり有収水 量	1年間における損益勘 定職員一人当たりの有 収水量を示すもので、 水道サービスの効率性 を表す。	年間総有収水量 / 損益勘定所属職員数	m ³ /人	272,000	264,000	↑
						年間総有収水量 (m)				
						R4 35,330,536				
						R5 34,816,738				
			C125	料金請求誤 り割合	料金請求総件数に対す る誤請求の件数の割合 を示すもので、料金関 連業務の適正度を表 す。	誤料金請求件数 / (料金請求件数 / 1,000)	件 /1,00 0件	0.00	0.00	↓
						誤料金請求件数 (件)				
						R4 1				
						R5 0				
			C126	料金収納率	1年間の水道料金総調 定額に対して、決算確 定時点において納入さ れている収入額の割合 を示すもので、水道事 業の経営状況の健全性 を表す。	(料金納入額 / 調定額) ×100	%	97.5	97.0	↑
						料金納入額 (千円)				
						R4 8,476,453				
						R5 8,346,022				
			C127	給水停止割 合	給水件数に対する給水 停止件数の割合を示す もので、水道料金の未 納状況の度合いを見る 指標。	給水停止件数 / (給水件数 / 1,000)	件 /1,00 0件	6.0	6.5	↓
						給水停止件数 (件)				
						R4 898				
						R5 967				
組 織 ・ 人 材 成	2 人 材 育 成		C201	水道技術に 関する資格 取得度	職員が取得している水 道技術に関する資格数 の全職員に対する割 合。	職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数	件/人	0.67	0.64	↑
						職員が取得している水道技術に関する資格数 (件)				
						R4 115				
						R5 111				
			C202	外部研修時 間	職員一人当たりの外部 研修の受講時間を表す もので、技術継承及び 技術向上への取組み状 況を表す。	(職員が外部研修を受けた時間 × 受講人数) / 全職員数	時間/ 人	7.4	7.8	↑
						職員が外部研修を受けた時間 × 受講人数 (延べ時間)				
						R4 1,267				
						R5 1,349				
			C203	内部研修時 間	職員一人当たりの内部 研修の受講時間を表す もので、技術継承及び 技術向上への取組み状 況を表す。	(職員が内部研修を受けた時間 × 受講人数) / 全職員数	時間/ 人	8.1	7.2	↑
						職員が内部研修を受けた時間 × 受講人数 (延べ時間)				
						R4 1,387				
						R5 1,243				

目標	分類	区分	指標No.	指標名	指標の解説	計 算 式	単位	業務指標値		業務評価基準
								R4	R5	
C	健全な事業経営	組織・人材	C204	技術職員率	全職員数に対する技術職員の割合を示すもので、技術面での維持管理体制を表す。	(技術職員数/全職員数) × 100	%	63.4	62.4	◇
						技術職員数				
						(人)				
						R4 109				
						R5 108				
			C205	水道業務平均経験年数	全職員の水道業務平均経験年数を表すもので、人的資源としての専門技術の累積度合いを表す。	職員の水道業務経験年数/全職員数	年/人	11.7	12.1	↑
						職員の水道業務経験年数(年)				
						(人)				
						R4 2,017				
						R5 2,097				
			C206	国際協力派遣者数	国際協力に派遣された人数とその滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表す。	Σ (国際協力派遣者数×滞在日数)	人・日	0	0	↑
						国際協力派遣者数				
						(人)				
						R4 0				
						R5 0				
			C207	国際協力受入者数	受け入れた海外の水道関係者の人数と滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表す。	Σ (国際協力受入者数×滞在日数)	人・日	0	0	↑
						国際協力受入者数				
						(人)				
						R4 0				
						R5 0				
	お客様とのコミュニケーション	情報提供	C301	検針委託率	水道メーター設置数に対する検針委託している水道メーター数の割合を示すもので、業務委託の度合いを表す。	(委託した水道メーター数/水道メーター設置数) × 100	%	100.0	100.0	◇
						委託した水道メーター数				
						(個)				
						R4 187,777				
						R5 188,584				
			C302	浄水場第三者委託率	全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を示すもので、第三者委託の導入状況を表す。	(第三者委託した浄水場の施設能力/全浄水施設能力) × 100	%	0.0	0.0	◇
						第三者委託した浄水場の施設能力				
						(㎡/日)				
						R4 0				
						R5 206,485				
	5意見収集	情報提供	C401	広報誌による情報の提供度	給水件数に対する広報誌などの発行部数の占める割合を示すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す。	広報誌などの配布部数/給水件数	部/件	3.1	3.0	↑
						広報誌などの配布部数				
						(部)				
						R4 457,000				
						R5 451,000				
			C402	インターネットによる情報の提供度	インターネット(ウェブページ)による水道事業の情報発信回数を表すもので、お客さまへの事業内容の公開度合いを表す。	ウェブページへの掲載回数	回	464	410	↑
						ウェブページへの掲載回数				
						(回)				
						R4 464				
						R5 410				
			C403	水道施設見学者割合	給水人口に対する水道施設見学者の割合を示すもので、お客さまとの双方向コミュニケーションの推進度合いを表す。	見学者数/(現在給水人口/1,000)	人/1,000人	0.1	6.4	↑
						見学者数				
						(人)				
						R4 23				
						R5 1,989				
			C501	モニタ割合	現在給水人口に占めるモニタ人数の割合を表すもので、お客さまとの双方向コミュニケーションの推進度合いを表す。	モニタ人数/(現在給水人口/1,000)	人/1,000人	0.0	0.0	↑
						モニタ人数				
						(人)				
						R4 0				
						R5 315,175				
			C502	アンケート情報収集割合	給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合を示し、お客さまのニーズの収集実行度を表す。	アンケート回答人数/(現在給水人口/1,000)	人/1,000人	4.63	3.56	↑
						アンケート回答人数				
						(人)				
						R4 1,460				
						R5 1,110				
			C503	直接飲用率	水道水を飲用としているお客さまの割合を示すものであり、水道水の飲み水として評価を表す。	(直接飲用回答数/アンケート回答数) × 100	%	47.5	53.4	↑
						直接飲用回答数				
						(人)				
						R4 506				
						R5 158				
			C504	水道サービスに対する苦情対応割合	給水件数に対する水道サービスに関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道サービス向上に対する取り組み状況を表す。	水道サービス苦情対応件数/(給水件数/1,000)	件/1,000件	0.00	0.00	↓
						水道サービス苦情対応件数				
						(件)				
						R4 0				
						R5 149,365				
			C505	水質に対する苦情対応割合	給水件数に対する、水道水の水質に関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道水質の向上に対する取り組み状況を表す。	水質苦情対応件数/(給水件数/1,000)	件/1,000件	0.13	0.09	↓
						水質苦情対応件数				
						(件)				
						R4 20				
						R5 13				
			C506	水道料金に対する苦情対応割合	給水件数に対する水道料金に関する苦情対応件数の割合を示すもので、お客さまの水道料金への満足度を表す。	水道料金苦情対応件数/(給水件数/1,000)	件/1,000件	0.00	0.00	↓
						水道料金苦情対応件数				
						(件)				
						R4 0				
						R5 149,365				